

# 早稲田大学リポジトリのシステム移行

## 1 移行の目的

「早稲田大学の研究成果を迅速にかつ低コストで世界に幅広く発信する」ことを目標に2005年5月に早稲田大学リポジトリ(DSpace@Waseda University)を公開して以来、年間2,000～3,000件程度の増加で順調に公開件数を伸ばしており、2016年度は前年度比で2,103件の増加となった(図1参照)。DSpaceは無料のソフトウェアだが、独自にサーバを保有してリポジトリを運営することが今日では必ずしも低コストであるとは言えず、DOI付与やクリエイティブコモンズ表示といったオープンサイエンスに対応する必要がある、また研究成果の公開にかかる時間も更に短縮したいところである。これらの問題を解決するために、国立情報学研究所(以下NII)の共用リポジトリサービスJAIRO Cloudへの移行を検討することになった。

## 2 移行の経緯

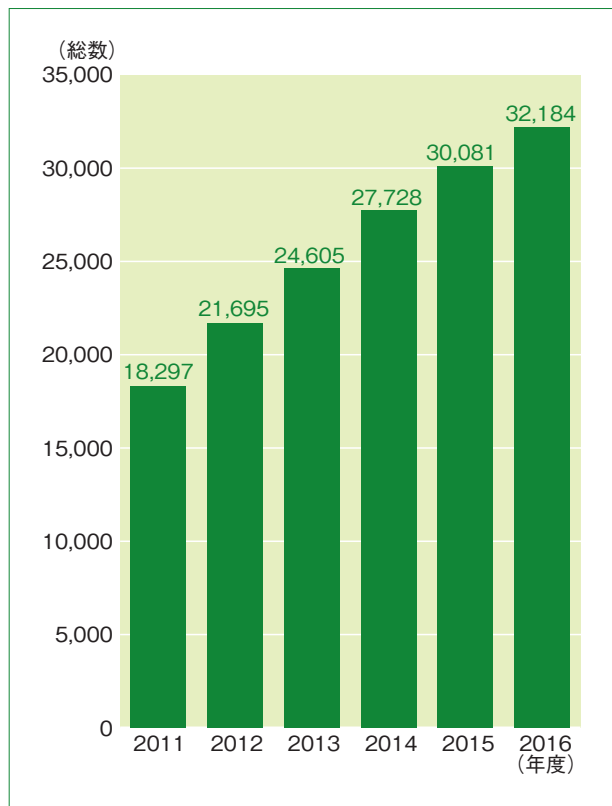
JAIRO Cloudに対する理解を深めるために、2014年秋にNII主催の「オープンアクセス・サミット2014」やJAIRO Cloud講習会等に参加して情報を収集した。移行するための費用を大学に申請し認められ、2016年4月にJAIRO Cloudへの移行を正式に決定した。NIIにJAIRO Cloudの利用申請を提出し7月にクラウド環境の提供を受けて移行作業を開始した。移行作業に一定の時間を要したが、2017年1月24日にJAIRO Cloudでの早稲田大学リポジトリを一般公開した。DSpaceを利用していた時代はDSpace@Waseda University(図2参照)を英語名称としていたが、JAIRO Cloudでの公開に伴いこれを廃止して「Waseda University Repository」に改めた(図3参照)。

## 3 今後の課題

サイズの大きい動画ファイルがJAIRO Cloudに全くアップロードできないことがあり、NIIにファイルを送付して代わりにアップロードしていただいた。アップロードできるファイルのサイズに制限を設けていることが原因のようだが、ユーザー側でアップロードできるよう機能改善をNIIに求めている。

JAIRO Cloudに移行したことである程度コストダウンを実現することができたが、今後もコストの削減とサービスの向上のバランスを取りながら、本学の研究成果の発信を推進していきたい。

■ 図1 登録コンテンツ数の推移



■ 図2 DSpace@Waseda University



■ 図3 早稲田大学リポジトリ(Waseda University Repository)  
<https://waseda.repo.nii.ac.jp/>

